

# 迎町「魔の交差点」返上へ

## 熊本市中央区

### 事故多発 改良工事進む

重大事故が多発し、「魔の交差点」と呼ばれた熊本市中央区の迎町交差点の改良事業が、2019年度末の完了に向けて急ピッチで進んでいる。用地買収など11年度の事業着手から9年。道路利用者や地元住民は事故を抑える改良効果に期待する。不名誉な呼び名を返上できるか。



道路改良事業が進む迎町交差点。左右に走るカーブした道路が国道3号  
= 2日、熊本市中央区

迎町交差点は、大きな路などが交わる変形 差点脇の店舗に突っ込  
くカーブした国道3号 5差路。20年以上前か むなど重大事故が度々  
に、市道(通称・産業道)ら大型トレーラーが交 起きていた。09年8月

には大型トレーラーが横転。車7台を巻き込み、5人がけが。10年5月にも横転し、運転手が軽傷を負ったほか、近隣が停電になった。



これを受け、国土交通省熊本河川国道事務所に、曲がりやすいよう

カーブの内側を低くするため、路面に傾斜を設けるなど事故を防ぐ工夫を施した。総事業費は11億円。

県警交通企画課によると、14年から今年10月未だ死亡事故はなしのもの、重傷3件を含む計37件の人身事故が発生。同課の合瀬勝彦次席は「交差点進入前の減速が大切」と呼び掛ける。

迎町交差点を仕事で通るといふ大型トラック運転手の平川英生さん(57)は「合志市」は「工事前、国道3号上り線の交差点カーブで、隣の車線を走って待たされた」と話した。

近くに住む大津幸子さん(83)は「魔の交差点」なんて呼ばれ方をされるのは嫌なので、工事が終わったら車も歩行者も安心して利用できるよつになつてほしい」とほほ笑んだ。(緒方季咲)



夜間工事中の迎町交差点  
= 11月28日午後10時10分すぎ、熊本市中央区



迎町交差点の国道3号のカーブを曲がり切れず横転したトレーラーのコンテナ。乗用車が下敷きになった。2009年8月(写真の一部を加工しています)